

製菓業の真太郎「おいしいのし、ヒット菓



「放牧牛の牛乳は風味豊かで環境にも優しい」と話す長沼真太郎社長 (植村佳弘撮影)

1年間の大手商社勤務を経て2011年、きのとやに入社。13年、鉄板ご店頭に並べた焼きたてチーズタルトを看板商品にした。翌年から1年間、見識を広げるため知人の紹介で米スタンフォード大の客員研究員として米国滞在。環境問題への意識から欧米では牛肉や乳製品を食べない人が増えるなど世界の潮流も学んだ。

牛のゲップなどから出るメタンガスが地球温暖化の原因とされているため、日本でもいず

苦小牧港の入港料減免

環境性能優れた船舶に15%

【苦小牧】道、苦小牧市などで構成する苦小牧港管理組合は4月1日から、二酸化炭素(CO2)の排出が少ないなど環境性能に優れた船舶を対象に、苦小牧港への入港料を15%減免する。期間は5年間。

船会社に環境負荷の少ない船舶の導入を促す狙いで、同様の減免は東京港、横浜港に続いて3カ所目。国内外の港湾管理者でつくる国際港湾協会(東京)

が苦小牧港に入る各船舶について、地球温暖化の原因となるCO2や大気汚染をもたらす硫酸酸化物(SO

点数基準を満たせば、入港料が減免される。

苦小牧港は北日本最大の貿易港で年間に延べ約1万4千隻が入港する。入港料は内航船が総トン数1ト当たり1円10銭、外航船は同

2円16銭。同組合には年間約1億円の収入がある。減免で減収となる可能性もあるが、担当者は「環境に配慮した港湾をアピールできる意義は大きい」と語る。

国際港湾協会は「苦小牧港の取り組みが各地に波及し、グリーン社会の実現につながるが」と期待している。(工藤雄高)

駅前18階ビル 来春着工

北広島市と日本エスコン協定

【北広島】不動産業の日本エスコン(東京)は30日、JR北広島駅西口前の市有地に建設予定の地下1階地上18階の複合ビルについて

周辺開発は2023年のプロ野球北海道日本ハムの「北海道ボールパークFビレッジ」(BP)開業を見据えたもの。複合ビルは5

日高で挑戦 新商品

り、菓子によく合う。放牧牛のふん尿は豊かな土壌をつくり、その土壌が二酸化炭素を吸収して環境負荷を減らす可能性があることも気付いた。19年、きのとやが酪農に参入し、その事業を引き継ぐ形で設立されたのがユートピアアグリカルチャーだ。32軒の牧場で牛約80頭、隣町の新冠町で鶏約5千羽を飼育し、牛乳と鶏卵を生産。きのとやグループに納入している。今年2月、初の自社製菓子「チ

深さ300メートルの地中熱冷暖房に

北大、秋田大、産業技術総合研究所は30日、札幌市北区の北大構内で、道内初となる深さ300メートルの地盤から熱を取り出す地中熱利用の実証試験のために熱交換機を設置した。地中熱を冷暖房に使う技術は国内では深さ100メートルが標準的だが、北欧などで大規模に導入する際は熱を効率的に多く得るため、深さ300メートルが一般的。国

北大構内で実証試験へ 熱交換機を設置

内でも大深度での実用化を図る。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託事業。工事は有我工業所(上川管内上富良野町、有我充人社長)が担い、掘削した穴にポリエチレン製チューブを挿入した。砂礫や粘土からなる層で、温度は深さ100メートルで11〜12度、300メートルで15〜16度とみられる。5月以降、地上で一定の熱を加えた水を地中に送り込み、温度変化や熱伝導率などをデータ収集を1、2年かけて行う。北大大学院工学研究院の長野克則教授は「試験に要する時間を従来の60時間から12時間程度に短縮したい」とし、実用化に向けたコスト低減を視野に入れる。(森川純)



地中熱利用の実証試験のため、北大構内で行われた300メートルの深さにチューブを下ろす作業

し、国の雇用使って休業手同製鉄所は炉改修を終え粗鋼生産量は月に上っている

新会長に

北海道税理任期満了に伴行い、新会長(59)を選出した。任期は4年間。現会長は顧問に就く幌市出身で、部卒。201副会長を務め

観光推進本

北海道中央は30日、子会を4月1日付し、本社内に長期的な戦略事業推進本部などの機構改同日付人事を

北海道中央ハツ▽観光事業推進本部▽観光事業推進本部▽観光事業推進本部▽観光事業推進本部